2014/03/25

第４課　地域を知って生活する

行動目標

地域の暮らしに必要な情報を得て、快適な生活を送ることができる。

チャレンジするタスク＆学習項目

タスク		できること	学習項目
1	耳でキャッチ	施設を利用するのにわからないことがあったとき、職員の説明を聞き取ることができる。	1　お・ご～です／お・ご～でしょう 2　～場合 3　～ないことには～ない 施設の利用方法の説明で使われることば・表現
2	こんなときどうする？	困っていることを管理人に説明し、解決してもらえるように頼むことができる。	1　～たいことがあるんですが 2　～（よ）うとする 3　～みたいなんですが／～ようなんですが 4　～ていただきたいんですが 言い出しにくいことを言うときの表現
3	見つけた！	地域にある施設の利用案内を読んで情報を得ることができる。	1　～には 2　～にかかわらず／～にかかわりなく 3　～次第 施設の利用案内でよく見ることば
4	伝えてみよう	よく利用する施設の様子や特徴（便利な点、設備…）などについて紹介することができる。	1　～途中（で）／～途中（に） 2　～を～として 施設のよさについて紹介するときの表現
5	耳でキャッチ	電話で道順をメモしながら行き方を知ることができる。	1　～を背にして 2　～に沿って／～に沿う／～に沿った 道を案内するときに使うことば
知って楽しむ		公共の施設を上手に使おう	

■　学習者への問いかけ例

話してみよう

・みなさんはどこに住んでいますか。
・住んでいる町には何がありますか。そこへ行ったことがありますか。利用したことがありますか。
・（イラストを見ながら）この町に何がありますか。何をするところですか。

1　耳でキャッチ

タスクをする前に

▷住んでいる町の図書館を利用したことがありますか。
▷わからないことがあったとき、図書館の人に質問したことがありますか。
▶（イラストを見ながら）ここはどこですか。ナタポンさんと山口さんは誰と話していますか。
▶右の二人は何を質問していますか。

チャレンジをした後で

・貸し出しカードを忘れた女の人は、最初に何と言いますか。
・今日、山口さんは貸し出しカードがなくても、本が借りられますか。どうしてですか。
・「何かご住所やお名前がわかるものをお持ちですか」の「お持ちですか」はどんな意味だと思いますか。
・「何かある？」は誰が誰に話していますか。どうしてそう思いますか。
・「カードがない場合、本人かどうか確認することになっています」の「本人」というのはどんな意味だと思いますか。
・「～ことになっています」はどういう意味ですか。
・いつ、本人かどうか確認することになっていますか。
・本人かどうか確認するために、何があればいいですか。
・「家に届いた郵便物でもかまわない」と言っていますが、「かまわない」はどういう意味だと思いますか。
・図書館の人は、どうして女の人に本を貸し出すことができないと言っていますか。

学習項目へ向けて

１．お・ご～です／お・ご～でしょう
　図書館の人は、「何かご住所やお名前がわかるものを持っていますか」と聞くとき、何と言いましたか。
２．～場合
　この図書館ではどんなとき、本人かどうか確認しますか。
３．～ないことには～ない
　どうして山口さんは今日、本が借りられませんか。「住所がわからないことには、貸し出しはできません」というのはどういう意味ですか。

>>>施設の利用方法の説明で使われることば・表現
　施設を利用するために施設の人に施設の説明を聞きます。そのときどんなことばが使われますか。

2　こんなときどうする？

タスクをする前に

▹どんなところに住んでいますか。
▹生活をしていて困っていることがありますか。そんなときどうしていますか。
▹隣の部屋の人がうるさくて困るとき、どうしますか。
▸Ａさんは隣の部屋の人のどんなことに困っていますか。
▸管理人さんに何を頼みたいですか。
▸どうして自分から隣の人に言いませんか。
▸（会話を始める前に聞くＣＤ［A-14］を聞いて）今どこへ来ましたか。

チャレンジをした後でサンプルを聞いたり見たりしながら

・最初にアンナさんは管理人さんに何と言いましたか。どうして「隣の部屋から大きな音が聞こえてきます」と言いませんでしたか。
・隣の部屋から大きな音が聞こえるのはいつですか。
・アンナさんは隣の部屋の人が「音楽を聞いているみたいなんですが……」と言いました。どうして「みたいなんですが…」と言ったと思いますか。
・アンナさんは管理人さんから隣の人に話してほしいです。何と言って頼みましたか。「話していただきたいです」とどう違うと思いますか。

学習項目へ向けて

１．～たいことがあるんですが
　アンナさんはどんな言葉から話し始めましたか。
２．～（よ）うとする
　昨日、いつ大きな音が聞こえてきましたか
３．～みたいなんですが／～ようなんですが
　アンナさんは隣の部屋に人が音楽を聞いていると思っていますが、それをどんな言い方で管理人さんに伝えましたか。
４．～ていただきたいんですが
　アンナさんは管理人さんから隣の人に話してほしいですが、ちょっと言いにくいです。どんな言い方でお願いしましたか。

>>>言い出しにくいことを言うときの表現
　言いにくいことを話し始めるとき、どんな言い方をしますか。

3　見つけた！

タスクをする前に

▹最近、運動をしていますか。
▹スポーツセンターなどを利用したいと思ったらどうしますか。
▹スポーツセンターなどのホームページや情報誌などを見るとき、どんな情報がほしいですか。

チャレンジした後で

・ここのトレーニングルームはどんな人が利用できますか。
・トレーニングルームを利用するためには、何をしなければならないと書いてありますか。
・「ご利用経験の有無」はどういう意味ですか。漢字を見てください。
・スポーツ教室に入りたいです。受付はいつ終わりますか。
・「シューズ」は靴です。靴をどうしてくださいと言っていますか。

学習項目へ向けて

１．～には
　トレーニングルームはすぐに利用できますか。
２．～にかかわらず／～にかかわりなく
　トレーニングルームを利用したことがある人は、講習は受けなくてもいいですか。
３．～次第
　スポーツ教室の受付はいつ終わりますか。

>>>施設の利用案内でよく見ることば
　施設のホームページやパンフレットの利用案内でよく見ることばを一緒に見てみましょう。

4　伝えてみよう

タスクをする前に

▹よく利用する施設はどこですか。
▹そこはどんな施設ですか。何がありますか。いいところはどんなところですか。どんな人が利用していますか。

チャレンジした後でサンプルを聞いたり見たりしながら

・この人は「学校から帰る途中、寄ってみます」と言っています。どんな意味だと思いますか。
・この公民館では、地域の人が描いた絵などを飾って見せるとき、どこを使っていますか。
・この人にとって、ロビーはどんな場所ですか。
・２階ではどんなことができますか。
・どんな施設が家の近くにあると便利だと言っていますか。

学習項目へ向けて

１．～途中（で）／～途中（に）
　この人が公民館へ寄るのは、いつですか。
２．～を～として
　この公民館にギャラリーがありますか。地域の人の作品を展示するときは、どうしていますか。

>>>施設のよさについて紹介するときの表現
　利用している施設のいいところをどんな表現で紹介しますか。

5　耳でキャッチ

タスクをする前に

▹施設に行きたいですが、場所がわからないときどうしますか。電話をして聞いたことがありますか。

チャレンジをした後で

・パクさんは文化センターへの行き方を聞くとき、最初に職員に何と言いましたか。
・職員は最初に「どちらからいらっしゃいますか」と聞きました。それはどうしてですか。
・パクさんが「北口ですね」と言っていますが、どうしてそう言ったと思いますか。
・職員が「駅を背にして、スーパーと本屋の間の道をまっすぐ歩いて来てください」と言いましたが、「駅を背にして」というのはどういう意味だと思いますか。
・職員が「その先に川があります」と言いましたが、「その先に」はどういう意味だと思いますか。
・職員が「川に沿って２００メートルぐらい歩くと、右に灰色の建物が見えます」と言いました。（地図を指しながら）「川に沿って」はどういう意味だと思いますか。
・文化センターの近くにコンビニはありますか。どこにありますか。

学習項目へ向けて

１．～を背にして
今パクさんの後ろには何がありますか。「そこからスーパーと本屋の間の道をまっすぐ歩いてきてください」と言うとき、職員は何と言いましたか
２．～に沿って／～に沿う／～に沿った
（地図の上で橋を渡ったあたりから川沿いを指しながら）職員はどのように歩くと、灰色の建物が見えてくると言いましたか。

>>>道を案内するときに使うことば
道を教えるときに、どんなことばを使いますか。

■　留意点

話してみよう

町でどんな施設を利用しているか、簡単に話してもらいます。クラスメイトが教室外でどんな生活をしているかを知ることができます。経験や感想を話して、課のタスクに入る準備をします。

「住んでいる町には何がありますか。そこを利用したことがありますか。」という問いかけに、スーパーやレストランという答えが出る場合がありますが、「誰でも無料でまたは安く利用できるところ、例えば……」などと問い直したり、イラストを見たりして話すといいと思います。（「施設」ということばはこの課で習う語彙です。）図書館を利用したことがあると言う学習者がいれば、本を借りたことがあるかどうかの話から、チャレンジ１に自然につながる場合もあります。

チャレンジ！

1

図書館の人に貸し出しカードを忘れたことについて質問している友達の話を横で聞いているという状況です。貸し出しカードを忘れた友達が本を借りられるかどうかについて、図書館員の説明をキャッチすることにチャレンジします。貸し出しカードを忘れた友達が最初に何と言うだろうかと予想してもらってからチャレンジに入るのもいいと思います。状況文の中にある「貸し出し」は新出語彙です。

2

困っていることを管理人さんに説明して、解決を依頼するタスクです。チャレンジする前に、ロールカードの内容を十分に確認してからスタートします。この「こんなときどうする？」には、会話を始める前に聞くＣＤがあります。指示文にある「管理人」「解決 - する」は新出語彙です。

3

スポーツセンターを利用したいと思って、ホームページを見ている状況です。施設の利用案内を見るとき、どんな情報を探すかなどと問いかけると、現実味が増すと思います。ほしい情報（「どんなことができるか」「どうやって利用するか」「誰でも使えるか」「いくらかかるか」など）をキャッチすることにチャレンジします。

4

利用している施設について周りの人に紹介するタスクです。その施設のいいところ、特徴などについて話すように促します。日本の施設をまだ利用したことがない場合は国の施設を紹介してもいいと思います。指示文の中の「様子」「特徴」は新出語彙です。

5

文化センターへ行きたいが場所がわからないので電話をして道順を聞いている状況です。実際に駅前に立って電話をする場合は、頭の中で道順のイメージを作りながら聞いているということを確認するといいと思います。地図は見ないで、文化センターへの行き方を聞き取ることにチャレンジします。聞き終わったら、p. 59 の地図を見て文化センターの場所を答えます。そして、どうしてわかったかを話してもらいます。拡大した地図を前に貼って、学習者と一緒に見ながら確認していくのもいいでしょう。

使ってみよう

1

「施設の利用方法の説明で使われることば・表現」のことばは、施設の利用案内の中の登録方法や登録に必要なものについて説明したページを見たりマッチング形式のクイズにしたりして、意味を確認することもできます。表現は例文を提示するとわかりやすくなります。

2

マークのついた学習項目の練習では、教師が口頭で状況を言って、そんな場合にはどう言えばいいかをできるだけ口頭で練習していきます。

「２．～（よ）うとする」の例文③④は「試み」の意味で、本文の意味とは違うことを紹介してください。また、ワークシートで「～ようとする」以外の「～ようとした」「～ようとしている」「～ようとしていた」の例も提示するといいと思います。

「３．～みたいなんですが／～ようなんですが」の例文①「取り換えときますね」の「～ときます」が「～ておきます」の縮約形であることは確認が必要です。

「４．～ていただきたいんですが」の練習の際は、「～てもらえませんか」（『できる日本語　初中級』第２課）、「～ていただけませんか」（『できる日本語　初中級』第５課）の既習の言い方をおさえておくといいと思います。

「言い出しにくいことをいうときの表現」では、アンナさんが管理人さんにはじめに声をかけるとき、どんな表現を使っていたか、など問いかけてから確認します。

3

「２．～にかかわらず」の「～ず」はここで初めて提出しています。「施設の利用案内でよく見ることば」では、実際の施設の利用案内を見たり、マッチング形式のクイズを使って、ことばの意味を確認していきます。

4

「１．～途中（で）／～途中（に）」では、教科書の例文やワークシートを使って「経路の途中」や「時間の途中」、また「途中で」「途中に」の助詞の使い方、例文④のように助詞がない場合について確認するといいでしょう。「施設のよさについて紹介するときの表現」では、チャレンジで利用している施設を紹介した学習者に「どんな人が利用できますか」「何が置いてありますか」などと問いかけていきます。その答えをここに出ている表現を使って言えることを紹介していきます。

5

口頭練習の際は、簡単な地図を拡大して前に貼って、それを見ながら行き方を説明する練習をしています。また、道順を説明するときの会話のサンプルにもなるので、スクリプトを読む練習をするといいと思います。「道を案内するときに使うことば」はイラストを用意して、ことばとのマッチングクイズにしてもいいと思います。

やってみよう

1

はじめに、公民館の会議室を借りるという状況を学習者と共有します。また、「公民館の会議室を借りるのは何のためか、そのような経験はあるか」など問いかけたり、借りるとき自分だったら最初に職員に何というかを考えたりしてもいいと思います。
また、途中でＣＤを止めて、自分だったら何と答えるかを学習者に考えて言ってもらうこともできます。そのような練習は実際に施設の職員とやり取りする場合に役立つだろうと思います。

2

学習者に実際に困っていることがあるか問いかけてみると、いろいろな例が出てきます。それらについてどうして困っているか、どうしてほしいのかなどを学習者同士で話し合ってから始めると、現実感が増します。

3

実際に地域にある施設のホームページの利用案内を見てみます。スマートフォンやパソコンなどで、地域にある施設を検索したり、学習者が興味を持ちそうな施設（スポーツセンター、図書館、博物館など）の利用案内を教師が予め用意したりしてもいいと思います。読み取ったことを共有していきます。

4

クラスメイトと利用している施設について情報を交換します。施設について紹介したあと、それらの施設を紹介する冊子にまとめることもできます。

5

地図を見ないでＣＤを聞いてから、図書館の位置を地図上で確認します。このほか、図書館やそのほかの場所の行き方を駅前から来ようとしている人に自分だったらどう説明するかという練習もできます。

知って楽しむ

p. 61 のイラストについて「どこでできると思いますか」などと問いかけてから読むのもいいと思います。タイトルにある「公共の施設」の「公共」は新出語彙です。読んだ後で、国にいるときにはどんな公共の施設を利用していたか、どんな特徴があるか、どんなことができるかなど、紹介してもらいます。

できる！

地域にある便利な施設を調べて、実際に利用してみます。筆者の勤務校では気になっていた施設に足を運んでみた、日本へ来てからできずにいたスポーツをしたいと思って電話で問い合わせてみた、クラスメイト同士一緒に行ってみたなどの例がありました。